

— 南総地区の人口 —
人口 19,507人
男 9,885人
女 9,622人
世帯数 10,176世帯
令和8年5月1日現在



編集

南総地区社協広報委員会

発行責任者

会長 児井 敏雄

事務局

南部保健福祉センター内

電話 92-1481



地区社協の情報については
こちらをご覧ください。

地域共生社会を目指して

5月30日の南総地区社協評議員会におきまして、令和8年度の事業計画と予算が承認されました。また理事、および担当役員理事の皆様は2年任期の途中での交代もありましたが、昨年とほぼ同様の体制でスタートいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

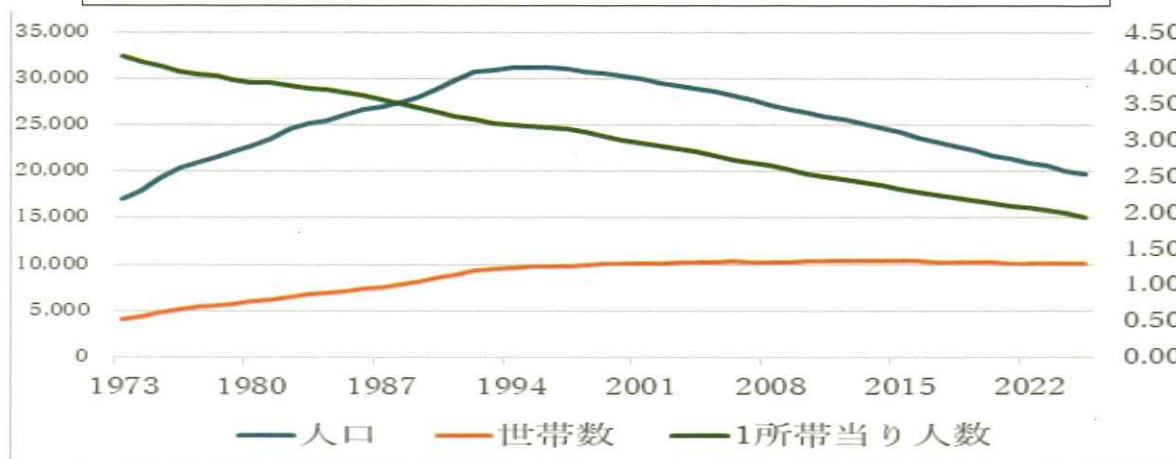
我々南総地区の人口形態は平均年齢57.9歳と高齢で、市の平均49.3歳を大きく上回ります。人口構成比率で見ますと65歳以上の高齢者比率は47.6%、75歳以上は27.2%を超えております。この傾向はしばらく続くと思われ、私たちは高齢者の方々はもちろんのこと、すべての年齢の方々が、安心して安全で幸せな日々を過ごせるよう努力してまいります。南総地区は「向こう三軒両隣」の気持ちを大切に相互扶助の必要性を推進し、お1人で悩み事を溜め込まず皆さんで共有しましょう。町会長の皆様、民生児童委員の皆様を中心に、「気づき」「つながり」「見守る」。ご自分の悩みは、皆さん共通の悩みです。

一緒に解決の糸口を探しましょう。地区社協は皆様のボランティアによって活動いたしております。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会長 児井 敏雄

南総地区人口と世帯数の推移（右軸：1世帯当り平均人数）



人口は1995年をピークに減少に転じましたが、世帯数は増加傾向にあります。2024年から、1世帯当り2.0を下回り、特に単身の世帯が増加しているものと思われます。

令和8年度評議員会を開催！！

5月30日(土)10時より、地区社協の総会とも言うべき「評議員会」を開催し、今後5年間の地域福祉活動の基本となる「第3次南総地区行動計画(以下、「行動計画」という。)」や、令和8年度の事業計画及び予算を決定しました。今後はこの行動計画に基づき、地域の福祉活動に取り組むこととなります。

地区社会福祉協議会とは…

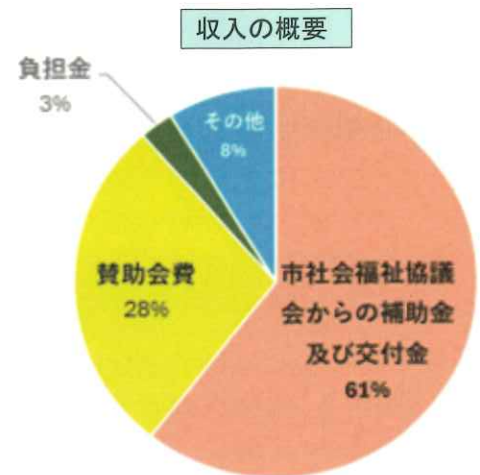
社会福祉法第109条に基づき、地域住民や福祉関係者が参加して「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進める団体で、公共性・公益性の高い民間の社会福祉法人(市原市社会福祉協議会)の内部組織です。地域のつながりづくり、見守り活動、サロン活動などを通じて、身近な福祉課題の把握と解決に取り組んでいます。

令和8年度事業計画 概要と予算規模

※予算総額 3,600,000円

I、収入の概要

- ① 市社会福祉協議会からの補助金及び交付金 2,186,100円
- ② 賛助会費 1,000,000円
- ③ 負担金 100,000円
- ④ その他(繰越金・寄附金等) 313,900円



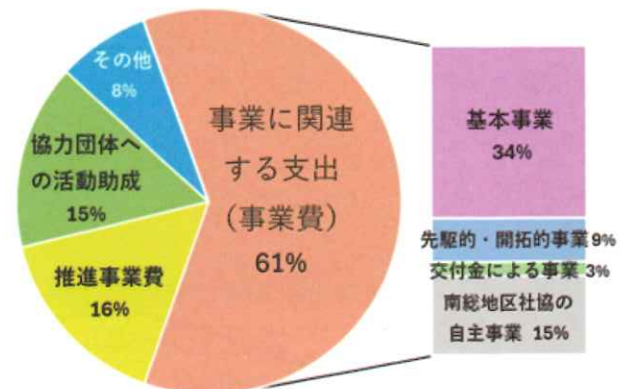
II、事業計画・支出の概要

1、事業に関連する支出(事業費) 2,190,000円

①基本事業 (内訳)

- ・相談支援 50,000円
毎週土曜日13時～15時 窓口開設
- ・共生型サロン 830,000円
地域の誰もが参加できるサロン
ふれあいいきいきサロン(地区社協)
茶話会(小域福祉ネットワーク)
のびのびキッズ(子育て家庭支援員協議会)
- ・福祉バザー 100,000円
11月15日(日)9時～ 南総公民館
- ・高齢者支え合い 160,000円
地域の課題を解決する仕組みづくり
- ・その他 80,000円

支出の概要



②先駆的・開拓的事業 (内訳)

- ・日常生活支援 180,000円
ちょっとした日常の困りごと支援
(草刈り・買い物支援等)
- ・子どもの居場所づくり 30,000円
第3の居場所づくり支援(子ども食堂等)
- ・お互いさまの地域づくり 30,000円
制服リユース、フードパントリー等
- ・人材育成 40,000円
地域デビュー講座等
- ・災害支援ボランティア 30,000円
サテライト災害ボランティアセンター
運営等の災害支援



福祉バザー 南総公民館体育室



③交付金による事業 100,000円

- ・地域福祉支援(クリスマス会)
12月11日(金)9時～ 南総公民館

④南総地区社協の自主事業 560,000円

- ・地域ふれあい会食会
- ・地域福祉講座
- ・研修会 他



共生型サロン (南総公民館視聴覚室)

2、推進事業費 570,000円

- ・拠点維持経費、通信費 他

3、協力団体への活動助成 561,000円

- ・10団体への助成

4、その他 279,000円

- ・会議費、事務費 他

賛助会員
加入の
お願い!!

賛助会費(年額 1口 1,000円)は、地区社協の自主事業を中心に、事業全般に活用させていただいております。
「南総地区社協賛助会員」として、ご支援ご協力をお願いいたします。



『ボランティア募集』

「地域で活動したい」「新しい仲間をつくりたい」「ボランティア活動に関心がある方」など、地域で活動するボランティアを募集しています。奮ってご参加ください!!

また、なのはな館との共催による「ボランティア活動の実践紹介」や「ボランティア体験」などの「地域デビュー講座」を実施しています。

活 動 内 容 (一例)

- ◎日常生活でのちょっとした困り事(草刈りや草取り等)の協力「ささえあい南総」など



活動場所：南総地区

- ◎子どもの居場所づくり(子ども食堂、学習支援等)の協力

活動場所
：牛久・寺谷・なのはな館等

- ◎送迎ボランティアサービス事業(病院や市役所等への送迎)の協力



活動場所：市内

《問い合わせ先》

南総地区社会福祉協議会

土曜日 13時～15時

TEL 070(5579)7629

※送迎ボランティアサービス事業については…

市原市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 0436(20)3100



米沢の森「人々の居場所・癒しの森を目指して20年」

市原米沢の森を考える会の発足は、一本の山桜を守ることから始めました。広大な森は昭和の中頃から日本の近代化により人の手が入らなくなり荒廃し、さらに千葉県が所有する開発予定地はバブル崩壊とともに放置されていました。2004年に会を立ち上げ、以前の豊かで美しかった山桜やコナラ、クヌギなどの広葉樹の森づくりに取り組んできました。

森は巨樹・古木、古墳、歴史・伝承文化が多く残り、山頂の御十八夜(おじゅうはっちゃ)からの景観は近隣にない里山です。遊歩道の保全整備が進み、山桜や菜の花が咲く時期は多くの人で賑わっています。特に、初日を観る会や山桜と菜の花祭りは好評です。会では多くのボランティアや行政、企業からの支援により市原の観光の名所づくりを行って、夢とロマンに満ちた山頂「月待ちの御十八夜」360度パノラマの整備と一都十県が見渡せる森づくりを進めています。東は太平洋、西は東京湾越しに富士山や南アルプス、東京のビル群、浅間山や日光の男体山の眺望は米沢の森の宝です。しかし、昨今の急激な自然災害や地球の温暖化、広葉落葉樹のナラ枯れ病により山桜などの巨木が減少しています。対策を講じていますが防護策は見つかりません。米沢の森ではドングリからの森づくりや山桜のツタ切を行い、木に独自の愛称と命名者を明記したプレートを付け、定期的に整備保全をして守り育てていく活動を行っています。米沢の森は持続的な保全整備に、ボランティア会員の募集も行っています。人は「自然を守れば自然に守られる」尊い森を未来に残しましょう。

市原米沢の森を考える会 代表 鶴岡 清次



ひだまり菜のはな広場



御十八夜から観る初日

市原歴史博物館によるフィールドマップ完成！

市原歴史博物館が令和2年度から取り組んでいた「いちばらフィールドマップ」(全20地区)が令和8年3月末に完成しました。これは市内に点在する優れた歴史遺産を地域資源として活用するため、フィールドミュージアム(屋根のない博物館)として、見学環境の整備を進めてきた成果の一つと言えます。

南市原のフィールドマップは8地区あり、このうち南総地区は戸田・牛久・鶴舞平三の4地区です。この優れた歴史遺産を地域資源として活用することで、歴史遺産を支える人材の育成や新たな交流の創出につなげる等、地域の活性化が期待されるそうです。



編集後記

健康寿命とは、介護の必要なく生活できた年数です。
平均寿命は男性81歳、女性87歳です。健康寿命は男性72歳、女性75歳で、寿命の差は約10年になります。

(厚生労働省 令和4年統計)

寿命は伸ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすかが大切です。市や地域包括支援センターでフレイル(要介護状態手前)予防の講座を定期的に開催しています。南総地区社会福祉協議会も各地区で健康講座を実施しています。皆さん積極的に講座に参加し健康寿命を伸ばしましょう。

編集委員

加藤 功 (牛久)
金高 義幸 (平三)
前川 清 (寺谷)
菅野 衛 (鶴舞)
多賀 義美 (内田)
渡邊 里美 (戸田)